

高圧ガス事故事例情報シート

整理番号 H12-01	事故名称 バナナ熟成炉の爆発			
発生日 2000年1月7日	事象 爆発		原因大分類 システム	KHK Code 2000-0001
発生場所 川崎市	ガスの種類 エチレン		原因中分類 操作基準等の不備	
事故区分 消費先	死亡 0	重傷 0	軽傷 0	原因補足 着火源の管理
事故状況 バナナ加工工場で熟成炉にエチレンガスを減圧導入してバナナを熟成させていた。高さ3.8m、幅2.5m×3mの室にボンベから減圧してエチレンを導入していたところ突然爆発した。				
事故原因 室内の温度を上げるためのヒーターが故障したため、電気ストーブを入れていたが、それが着火源となり爆発したと思われる。				
措置・対策 高圧ガス保安教育の実施、特に可燃性ガス雰囲気下での着火源管理。				
教訓 1. 可燃性ガス漏えい検知警報器を設置し、ガスの濃度を監視する必要がある。 エチレンガスの爆発下限界2.7%の1/4以下で警報 2. 消費設備から5m以内では電気ストーブなどの火気は絶対使用しない。 3. 液化エチレンの取扱い(ガスの性質、容器の転倒防止、ゴムホースの管理等)及び設備不調・故障時の措置について保安教育が必要である。 4. 消費設備の日常点検を行い、異常のある時は危険を防止する措置を講ずる必要がある。				